

# 太平洋戦争で米兵45000人翻弄

# 神出鬼没の日本兵

平山秀幸監督映画「太平洋の奇跡」

俳優・竹野内豊39が初めて軍人を演じることが30日、分かった。日米開戦70年目の2011年2月に公開される映画「太平洋の奇跡」フオックスと呼ばれた男(平山秀幸監督)に主演。太平洋戦争末期、サイパン島で4万5000人も米軍を翻弄(ほんろう)し続けた実在の日本兵にふんずく。このほど慰霊のためサイパンを訪れた竹野内は「大きな何かを抱えながらの撮影になる」と全身全霊をかけて臨む覚悟だ。

## 初の軍人役

竹野内が日米開戦70年の節目に大作に臨む。今回演じるのは「フオックス」と呼ばれ、米軍から恐れられた大場栄大尉。サイパン島が制圧された後も、決してあきらめず、となく米軍に立ち向かった神出鬼没の日本兵だ。

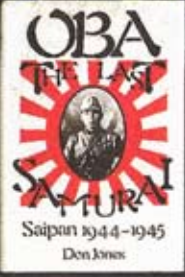
## サイパン慰霊訪問 大きな何か抱えながらの撮影になる

「約30年前にこの本を読んだ。誇り高き日本人の雄姿を描いた。目テレの奥田誠治エグゼクティブプロデューサーは「約30年前にこの本を読んだ。誇り高き日本人の雄姿を描いた。」

髪バッサリ 撮影はこのほどスタートし、サイパンなどで海外ロケが行われる。竹野内は髪をばっさり切って、役に没頭しているという。米国人スタッフが参加し、米軍側の描写も克明に描かれる予定。最後には敵であるはずの米軍から称賛を勝ち取った日本兵の姿が明らかになる。(安室 朝雄)



◀◀ 撮影を前に慰霊のためサイパンを訪れた竹野内豊



映画「太平洋の奇跡」の原作本の表紙

目を出版し、敵ながら感嘆